

<<< フレキシ・スイッチング >>>

この製品にはフレキシ・スイッチ (Flexi-Switch®) 機能が搭載されています。電子リレー方式のトウルバイパスで、踏み方の違いによって通常のラッチ式のスイッチとしても、モーメンタリースイッチ (アンラッチ式) としても使用可能です。

- ・ ラッチ方式のスイッチとしての使用の場合は、通常のエフェクターのスイッチの様にオンにした時に一回踏み、オフにしたい時にスイッチを再度一回踏み込んでください。
- ・ モーメンタリー方式のスイッチとしての使用の場合は、スイッチを踏み込んでいる間だけエフェクターがオンになり、一度スイッチを放すとオフになります。

電子リレー方式のスイッチを使用しておりますので、電源が供給されなければ入力された信号は出力されません。

<<< 電源 >>>

消費電流: 68 mA

この製品は9V、ACアダプターで2.1mmのセンターマイナスのアダプターで使用できます。デジージェインやトランス方式でないパワーアダプター等の使用ではノイズが乗る事が有りますので当社では推奨していません。また故障の原因になりますので9Vを超える電源は使用しないでください!

<<< 製品仕様 >>>

入力インピーダンス: 1 MOhm

出力インピーダンス: <1 kOhm

本体サイズ: 12.065cm x 9.27cm x 6.35cm

<<< 付属品 >>>

取扱説明書×1

保証書×1

安全上のご注意×1

製品の取扱に関するお問い合わせ先

お客様コミュニケーションセンター ギター・ドラム相談窓口
営業時間: 月～金曜日 10:00～17:00 (土/日曜日・センター指定日除く)
TEL: 0570-056-808 (ナビダイヤル) または 053-533-5003
URL: <https://jp.yamaha.com/support/>
※都合により、電話番号、名称、営業時間など変更になる場合がございます。

修理に関するお問い合わせ先

ヤマハ修理相談センター
営業時間: 月～金曜日 10:00～17:00 (土/日曜日・センター指定日除く)
TEL: 0570-012-808 (ナビダイヤル) または 053-460-4830

輸入販売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン LM営業部輸入商品課
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL: 03-5488-5445



www.earthquakerdevices.jp
©2020 EarthQuaker Devices LLC

Rainbow Machine™



説明書

このたびはアースクエイカーデバイスのレインボーマシン、ポリフォニックピッチシフティングモジュレーターを購入して頂きありがとうございます!ご使用の際はこの説明書 を読んで頂けると音決めの際のノブのセッティング等、素早く対応できると思いますので是非お読みください。レインボーマシンは一号機からさらなるアップデートがされています。エフェクト音の音量とディレイの長さが上がり、コーラス効果もさらに深く。**Activate(1)**と**Magic(2)**にはフレキシスイッチを搭載しており、このエフェクターをもっと楽しめる様に改良されています。DSP搭載でデジタルのオシレーターを利用した、リアルタイムでも操作できる一種のピッチシフターです。入力信号に対するトラッキングは正確ですが、他にみられるピッチシフターとは違いわざとピッチを完璧にせず、ワイルドにコントロール不能な所を楽しめる物になっております!

Pitch(3)ノブでハーモナイザーのピッチの設定。一番左に回し切った状態で下の4th、一番右に回し切った状態で上の3rdになり、ノブを動かしている間は無調でピッチが変化していきます。12時の方向ではユニゾンになります。こちらは外部エクスペリションペダルでリアルタイムでの操作が可能です。なお、外部エクスペリションペダル使用の場合はPitchノブの設定は無効になります。**Primary(4)**ノブで設定したハーモニーの音量を調整します。

[プロのコツ(pro tip): Pitchを12時の方向に設定するとコーラスの様で使用できます。Primaryでエフェクト音の音量の調整をし、Trackingでディレイタイムを調整します。Trackingを上げるとディレイタイムが短くなるので、スラップバックの様な短いディレイの場合はノブを上げて、アンビエント感をさらに足したい場合はノブを下げて使用してみてください。]

Tracking(5)でディレイの様にエフェクト音の出るタイミングの設定をします。**Tone(6)**ノブを左に回すとピンテージ感の有る暖かい音になり、左に回すと明るい音になります。

Secondary(7)でPrimaryで設定された音程にさらにオクターブを追加できます。12時から左に回すとオクターブダウンが出て、右に回すとオクターブ アップが出ます。12時の方向に設定するとオクターブの変化は得られませんが、さらなるコーラス効果を得られます。低音の揺れや高音のきらびやかさ等、お気に入りの音の組み合わせが聞けるまで調整してください。

Primary、Secondary(同時に片方使用時のみ有効)にフィードバックを掛ける量の設定。どれくらい“変な音”にするかの設定の鍵がここです。この設定と他のコントロールの設定次第で音階の崩れ落ち方が変わりますので色々試してみてください。

Magic(8)の設定が低い時にMagicをオンにすると、他のノブの設定次第ですが少しか音の跳ね返りが聞けると思います。そこからMagicノブを上げていく事によって、音の雰囲気、跳ね返り感、自己発振やピッチの動くディレイ感、さらに不思議なコーラス感など様々なエフェクト効果が得られます。Trackingを左寄りに回した設定でエフェクト音の遅い設定にした場合はよりMagicの機能が効き、音階の崩れ落ち方が強く掛かりますのでお試しください。

レインボーマシンをほんの一瞬だけ使いたい時などは、フットスイッチを押し込んだままでモメンタリースイッチの様に扱えます。フレキシスイッチ搭載ですので、通常のオン/オフスイッチとしても機能します。

[プロのコツ(pro tip): 音の崩れ方はPitchノブの設定された場所で変わってきます。Pitchが12時方向より高く設定されている場合は、Magic機能を使用した場合にピッチが高くなりながら音が崩れていき、逆にPitchが12時方向より低く設定されている場合はピッチが低くなりながら音が崩れていきます。Magicの使用を考えている方はこの点に注意してPitchを設定してみてください。]

<<< コントロール >>>



<<< Expression Jack >>>

Pitchは外部エクスペリションペダルでコントロールする事が可能です。その際は本体上のPitchの設定は無効になります。当社ではMoog社製、EP-3を推奨しております。EP-3をご使用の際はアウトプットの調整を最大にしてご使用ください。レインボーマシンは上記の機種以外のエクスペリションペダルでの使用は保証していません。